

【講演2】

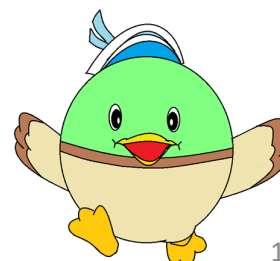
長崎県医療勤務環境改善支援センター 医療機関の取組への支援について



長崎県福祉保健部
医療人材対策室
今村 恵理子

本日の内容

1. 長崎県医療勤務環境改善支援センターの概要
2. これまでの主な支援活動
3. 医療勤務環境改善支援事業補助金
4. 今後の「できるカモ」活動



1. 長崎県医療勤務環境改善支援センターの概要

開設：平成27年8月1日

- 設置場所：長崎県福祉保健部医療人材対策室（直営型）
- 運営体制：職員、嘱託2名。運営協議会を設置し、関係団体と連携
- 支援体制：要望内容に応じ、各アドバイザーを派遣
医療労務管理部門3名（長崎県社会保険労務士会）
医業経営部門2名（医業経営コンサルタント協会長崎県支部）
- 支援対象：県内の医療機関
（病院149箇所、診療所1,384箇所）

2

2. これまでの主な支援活動

1	相談対応（電話対応、個別訪問による支援）
2	関係団体、医療機関で行う研修会等への講師派遣
3	「医療勤務環境改善支援事業補助金」の活用によるマネジメントシステムの普及促進（平成28年度から）
4	医療機関における勤務環境改善に向けた取組状況及びニーズの把握と、県内医療機関への情報提供（アンケート調査、広報活動など）
5	「医療勤務環境改善セミナー」の開催（年2回）

3

3. 医療勤務環境改善支援事業補助金

①概要

医療勤務環境改善マネジメントシステムの普及促進を目的として平成28年度からスタート

目的	「医療勤務環境改善マネジメントシステム」に基づく取組の立ち上げ支援
対象	これまでに当補助金の対象となっていない県内医療機関
採択枠	令和元年度 4件（毎年度4～5件）
補助率	事業費の1/2、限度額1,000千円

4

②-1 実績

年度	施設数	主な対象事業
H28	6施設	（働き方・休み方改善） 医療クラーク・看護師事務作業補助者の配置
H29	5施設	夜勤専従者の増員、看護補助者の導入 シフト体制整備のための非常勤職員の増員
H30	3施設	（職員の健康支援） 休憩室の備品整備
R元	4施設	（働きやすさ確保のための環境整備） 育児や介護、早出勤務者のための駐車場確保 相談窓口の設置 ハラスメント研修に係る経費補助 （働きがいの向上） e-ラーニング・院内研修・キャリア形成研修 に係る経費補助など

5

②-2 対象事業の効果

効果は？

- ・ 医療クラークを配置し、医師の事務作業負担の軽減に繋がった。看護職についても業務の見直しを行い、看護師の業務負担が軽減され、専門業務に専念することが可能になった。
- ・ e-learningの導入により、スタッフが希望する研修が受けられるようになり、資格取得やキャリアアップに繋がった。
- ・ 看護師事務作業補助者の配置によって看護業務を見直すことができ、時間外勤務が減少した。

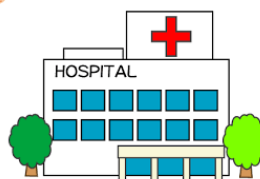
6

③-1 支援事例

A病院（県南地域）

総病床数 100床弱

職員総数 約160名



A病院
勤務環境改善チーム

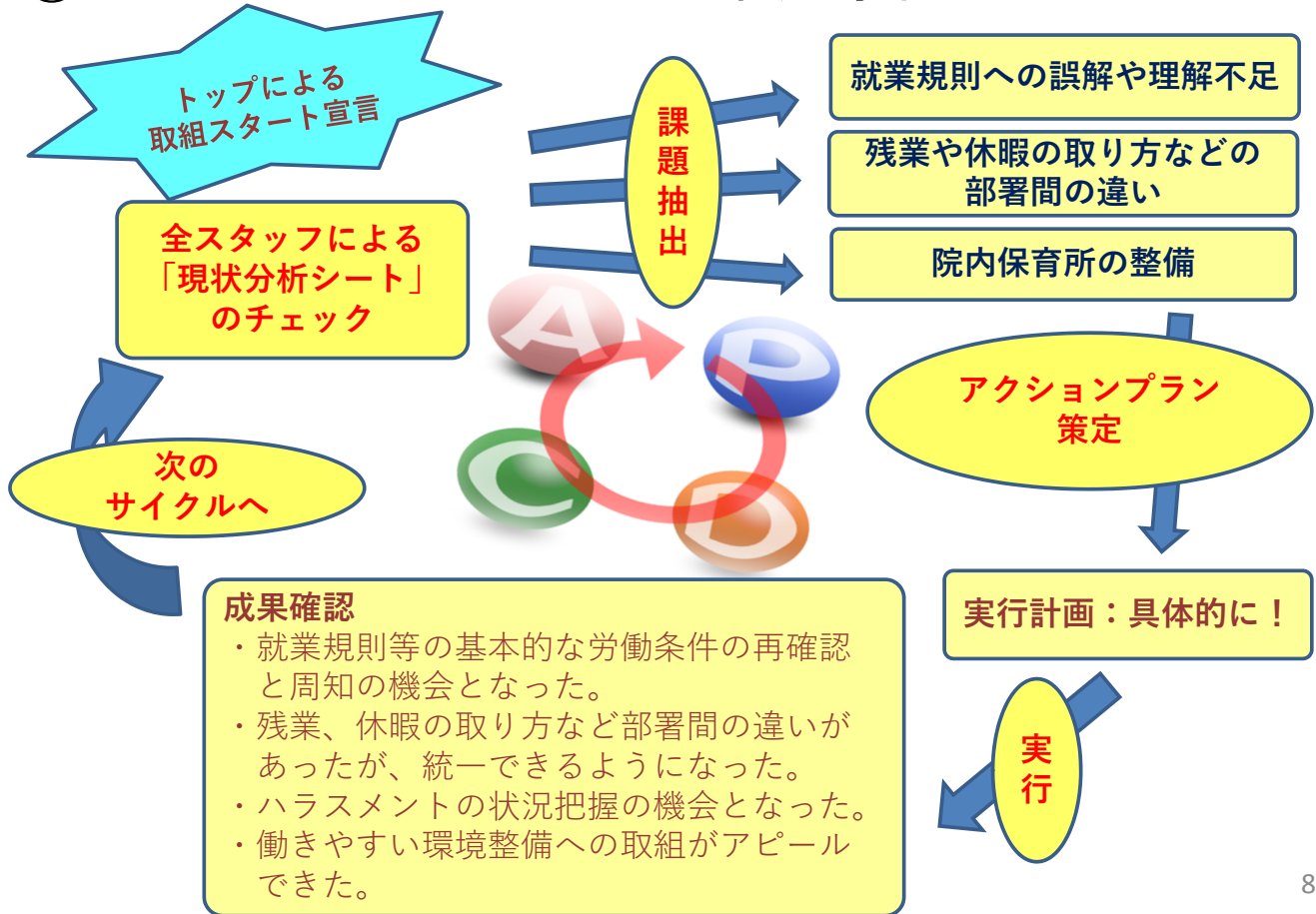


補助金を活用した取り組み内容

- ・ 看護補助者の配置
- ・ 腰痛予防講習会の実施
- ・ 就業に関する相談窓口の設置（相談員の配置）

7

③ー2 マネジメントシステム活用事例



8

③ー3 マネジメントシステム活用による効果

取組チームのリーダーのコメント

D病院（取組開始年度：H28）

マネジメントシステムを活用し改善に取組み始めて3年になり、改善委員会自体スムーズに進められるようになっていきました。PDCAサイクルを回し、さらに「働きやすい職場づくり」を目指して取組みを続けたい。

T病院（取組開始年度：H29）

現状分析シートにて当院の問題点と状況を把握し、その問題点について改善できるように取組みました。アドバイザーの方には他の施設の事例もあげられて説明いただきました。看護師の時間外勤務の縮減と職種間のコミュニケーションの向上について話し合い、職種間での運用のあり方も検討され、改善できているように思われます。

I病院（取組開始年度：H28）

システム活用後、ノウハウを生かして病院独自で作成した「職員満足度アンケート調査」を定期的の実施することにより、現状把握と課題抽出を行い、改善に取り組んでいます。

9

④ 課題

◆ マネジメントシステムの定着支援

- ・ 支援対象医療機関の特性、取組状況に寄り添う支援
- ・ PDCAサイクルを回していくまでの支援の継続
- ・ 医療労務管理アドバイザーと医業経営アドバイザー間のより強い連携
- ・ 好事例の紹介

◆ 補助金の有効な活用

- ・ ニーズに合った補助金対象事業の検討と発掘
- ・ 利用しやすい公募と周知（セミナー、説明会などの活用）

10

4. 今後の「できるカモ」活動

◆ 好事例紹介

ニュースレターやホームページで、県内医療機関の取組事例を紹介します。

◆ 困ったときは支援センター

マネジメントシステムの活用、労務管理に関するご相談への対応、改善に向けた取組への支援を充実します。



11

ご清聴ありがとうございました。

